

施策マネジメントシート1(27年度目標達成度評価)

作成日 平成 28 年 7 月 19 日  
更新日 平成 28 年 7 月 22 日

総合計画体系	政策No.	4	政策名	みんなで元気に笑顔あふれるまちづくり	施策統括部	教育部	部長名	安武 祐次
	施策No.	22	施策名	生涯スポーツの推進	施策主管課	生涯学習課	課長名	岐部 則夫
					関係課	市民課、学校教育課、人権啓発教育課、会計課、監査委員事務局		

1 施策の目的と指標 **新政策** **Ⅲ 教育の健康** **施策** **11 生涯スポーツの推進**

① 対象(誰、何を対象としているのか) \*人や自然資源等  
市民

② 意図(対象がどのような状態になれば良いのか)  
生涯にわたって目標・目的を持ち、スポーツを行なっている

③ 対象指標(対象の大きさを表す指標) \*数字は記入しない

名称		単位
A	人口	人
B	市外からの通勤・通学者数	人
C		

④ 成果指標(意図の達成度を表す指標) \*数字は記入しない

名称		単位
A	目標・目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合	%
B		
C		
D		
E		
F		

成果指標の測定企画(実際にどのように実績値を把握するか)

市民意識調査により把握  
設問:「あなたは目標・目的を持って実際にスポーツを行なっていますか?」  
選択肢:①週に2回以上行なっている、②週に1回行なっている、③月に2、3回行なっている  
④月に1回行なっている ⑤ほとんど行なっていない  
※「スポーツ」とは、学校や職場、地域社会の中で行われる組織的なスポーツ活動だけでなく、個人的なスポーツ活動も含みます。  
(目標・目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合=①~③を回答した人数/全回答者数)

2 指標等の推移

指標名	単位	数値区分	21年度現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	A 人	見込み値		56,281	56,829	57,377	57,925	58,474	
		実績値		56,638	57,367	58,237	59,067	60,008	
		見込み値							
成果指標	A %	成り行き値		32.8	32.8	32.8	32.8	32.8	
		目標値		34.0	36.0	38.0	40.0	42.0	
		実績値	32.8	41.9	38.3	39.7	40.3	36.9	
	B	成り行き値							
		目標値							
		実績値							
	C	成り行き値							
		目標値							
		実績値							
	D	成り行き値							
		目標値							
		実績値							
E	成り行き値								
	目標値								
	実績値								
F	成り行き値								
	目標値								
	実績値								

事務事業数		本数	21年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
施策コスト	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	5,432	0	0	43
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	21,367	37,210	29,856	32,102	25,443
		繰入金	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	75,108	68,903	36,378	39,724	46,738
	事業費計(A)		千円	96,475	111,545	66,234	71,826	72,224
	(A)のうち指定経費		千円	17,403	15,414	8,201	7,974	1,678
	(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	577	560	781	565	685
	人件費	延べ業務時間	時間	7,268	6,557	6,586	5,685	6,077
人件費計(B)		千円	29,339	0	26,239	23,144	22,564	
トータルコスト(A)+(B)		千円	125,814	111,545	92,473	94,970	94,788	

基本計画期間における施策の目標設定とその根拠(水準の理由と前提条件)	A: 目標、目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合について、成り行き値は、経済状況が不安定なことを考慮して、平成21年度の実績値である32.8%で今後も推移すると考え設定した。 目標値は、高齢化が進み、余暇を利用してレクリエーションスポーツに親しむ人が増える予想されることに加えて、手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進をすすめ、ひろくスポーツに取り組める環境を整えること、各種団体の周知を図り、団体参加を促すこと、人材を発掘し、人材の活用を進めること、既存の施設を検証し、多くの人の利活用ができるような仕組みと有効な施設利用を図ること、平成22年度の第1期の学習とスポーツを含めた目標値である42%を、平成27年度の目標値として設定した。
基本計画期間における施策の方針	①市民が自ら生涯スポーツに取り組みやすい環境づくりにつとめる。 ②豊かな心をもつ人を育み、生きがいを見つけられる生涯スポーツの推進。

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

<p>【1】この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)</p> <p>ア)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民は、市主催または地域主催等の色々な事業に参加する。</li> <li>・市民は、体力向上(競技力向上)のため、目標を持って取り組む。</li> <li>・地域は、レクリエーションやスポーツ活動を開催する。</li> <li>・団体と事業所は、スポーツイベントや各種スポーツ教室等を開催する。</li> </ul>
<p>イ)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会の開催と支援</li> <li>・各種ニュースポーツの紹介など、生涯スポーツのきっかけづくりとしての事業の実施</li> <li>・各種施設の計画的な整備と管理・運営</li> <li>・競技別リーダーの育成</li> </ul>
<p>【2】施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?(平成27年度を見越して)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化がさらに進むことで、自分の体力にあったスポーツに親しんだり、参加する人が増えると予想される。</li> <li>・施設の老朽化が進み、維持管理費の増加が予想される。</li> <li>・地域では、レクリエーションスポーツの実施が増えているが、今後もこの傾向は続くと思われ、種目ごとに必要な器具や用具の備えが必要になってくる。</li> </ul>
<p>【3】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民から、各種スポーツ教室の内容拡充の要望が多い。</li> </ul> <p>【平成27年度の施策評価(26年度振り返り)における議会意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 体育施設、グラウンド等の充実を図り、組織化を含めスポーツの推進を図ること</li> <li>2. 地域対抗の各種スポーツイベントを開催し、交流および健康促進につなげること</li> </ol> <p>【平成27年度の施策評価(26年度振り返り)における総合政策審議会意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯スポーツの普及促進と、スポーツ推進委員や指導者の充実と活用を図ること。</li> <li>2. 市民全体でできるイベント、スポーツの実施を検討すること。</li> <li>3. 地域ごとにスポーツ施設の充実を検討すること。</li> </ol>

4 施策の評価

<p>【1】施策の目標達成度(27年度目標と実績との比較)</p> <p>A → ×【 目標・目的を持って実際に学習やスポーツを行っている人の割合 】</p> <p>： 目標値42.0%に対し実績値36.9%であり、達成度は87.9%であった。</p>	<p>※左記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)</p> <p>A:スポーツや健康づくりなど市民の健康意識の高まりはあるが、仕事や育児等が忙しく時間が取れない人が増加したものと考えられる。なお、実績値の減少は震災後にアンケートを取った事によるものと考えられる。</p>
--	--

※○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成

<p>【2】施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)</p> <p>(1)平成27年度経営方針である、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「ラジオ体操による市民の健康づくりを推進する。」については、地区担当として市職員を配置し、市内86地区のうち45地区で取り組みが始まった。NHKラジオの夏期巡回ラジオ体操会を開催し、市民への啓発を図るとともに全国へ情報発信を行なった。</li> <li>②「安心して安全に利用しやすい施設とするために計画的な改修を行なう。」については、適正な管理に努め、老朽化により損傷が激しい栄体育館の床改修、妙泉寺体育館のカーテン改修を行なった。</li> <li>③「より多くの市民が参加しやすいように、各種スポーツ教室の内容充実と啓発に努める」については、年度を前期、後期に分けて市民の健康づくりに繋がる各種講座を設け、募集パンフレットを各世帯に配布し市民に対する啓発を行った。</li> <li>④「スポーツ推進委員の活動環境の充実に努める。」については、ラジオ体操普及のためにスポーツ推進委員がラジオ体操指導者資格を取得し、新たな活動環境づくりを図った。</li> <li>⑤「各地区で新たにスポーツ支援員(仮称)の養成に努める。」については、ラジオ体操による市民の健康づくり事業において、各地区で率先して活動できる新しいリーダー養成を図った。</li> </ol> <p>(2)事務事業貢献度評価の結果では、平成27年度施策の成果を向上させるために最も貢献した事務事業として、総合型地域スポーツクラブ運営支援事業があげられ、貢献した事務事業にはラジオ体操による市民の健康づくり事業があげられた。</p>
--

**【3】 施策の課題(基本計画期間を見据えて、どのような課題を解決していかなければならないか)**

- ・各種施設、設備の老朽化に伴う、計画的な施設、設備の改修
- ・地域では、レクリエーションスポーツの実施が増えているが、ニーズに合ったレクリエーションスポーツや学習の情報提供や支援に努める。

**5 施策の27年度結果に対する審査結果**

**① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて…平成28年7月26日)**

- ・生涯スポーツ団体の活動しやすい環境整備が必要。
  - ・平成30年に向けての小学校部活の社会体育への移行への支援が必要。
  - ・健康づくりのための生涯スポーツの推進が必要。
  - ・総合型地域スポーツクラブの充実が必要。
- ※震災により、今後対応を考えていくことが必要。

**② 総合政策審議会での指摘事項(平成28年8月9日、17日、24日まとめ)**

- ・生涯スポーツの普及のため各スポーツ団体の活動や周知を図ること。
- ・参加人口を増やすため誰でも気軽に参加できるイベントやスポーツの実施を検討すること。

**③ 議会の行政評価における指摘事項(平成28年9月23日)**

- ・イベント会場を確保し、グラウンドゴルフ等を市の行事として組み込むこと。
- ・取り組んだラジオ体操の更なる拡充を図ること。

**6 次年度に向けた取り組み方針**

**● 政策推進本部 平成29年度合志市経営方針(平成28年10月3日)**

1. ラジオ体操やグラウンドゴルフ等市民が参加しやすいスポーツの普及促進と健康づくりを進める。
2. 地震災害による泉ヶ丘体育館、武道館の早期復旧を図り、安全で利用しやすい施設とするために計画的な施設の改修に努める。
3. 小学校運動部活動の社会体育移行に向けた環境整備を推進するとともに、総合型地域スポーツクラブの充実を図る。